

Lektion 12

文法のポイント

●動詞の3基本形と現在完了形

欧米言語の文法は、ここまで来るとだいたい半分以上をすぎたところです。

まずは英語にもあった「不定形・過去形・過去分詞」という、動詞の「3基本形」の構造をしっかりと覚えることにしましょう。ただし、このあとでお話するような理由で、今学期は過去形は覚えなくてかまいません。そのかわりに「過去分詞」だけはしっかりと身につけてください。

●ドイツ語の現在完了形

ドイツ語の日常口語では過去の話はほとんど「現在完了形」で表現されます。

ですから、今学期はまず現在完了形をつくるために必要な「過去分詞」をあつかいます。

「過去形」はもっぱら書き言葉、身近なところでは新聞・雑誌、小説などで用いられますが、これについては初級Ⅱであらためて勉強することにしましょう。

今課については、過去の話は基本的に現在完了形を使って、Ich habe …, Haben Sie …?, Hast du …? などのように haben と過去分詞の組み合わせで展開すると考えていただいでけっこうです。

●sein で現在完了形を作る動詞

「行く」、「来る」など「場所の移動」を表す動詞や、「…になる」など「状態の変化」を表す動詞は sein で現在完了形を作ります。

表現のポイント

●過去の行動や体験の話

先課で勉強した「話法の助動詞」と今課の「現在完了形」で、皆さんのドイツ語のコミュニケーションも立体的になっていきます。

●時間の表現（2）

時間の表現として、11 課で何時何分といういい方を覚えましたが、今課では何時何分前とか何時半といった言い方をおぼえましょう。日常生活ではこのような表現の方が多く使われます。